

ナグ・ハマディ橋工事概要

Outline of Nag Hamadi Railway Bridge

川田工業㈱・四国工場

この工事は当社とドイツのクルップ社が組んで受注に成功したもので、ナイル川上流の資源開発を目的としてエジプトが新規に計画した鉄道トラス橋である。

本工事の規模はトラス橋5連からなり、当社はそのうちの4連を製作・輸送し、クルップ社が中央径間の回転橋の製作・輸送そしてすべての現場工事を担当する。

本工事を施工するに当たり、当社としては初めての試みである施工管理体制の形をとった。この事を含め本工事の概要を説明する。

本プロジェクトの構成は複雑で、資金は日本の銀行、発注はエジプトそして工事はクルップ・川田が受注しその一部の製作輸送を当社が担う。

又スペックについてもDIN, ASTM, エジプト国鉄規格, AWS, JRS, JIS と多岐にわたっている。

鋼材はASTMA588GR. A(設計仕様はDIN WT-ST 52-3)であり、いわゆる耐候性の無塗装仕様である。ボルトは当社で初めてである高力パスボルト(DIN 7999)を用いている。このボルトはJRSの打込み式

高力ボルトの軸部のキザミをなくした円筒形のボルトである。従ってボルト孔径についてM24の場合、孔は25φで許容公差は+0.13mm, -0ときびしいものになっている。この様なきびしい公差に対応するべく孔については現場にてすべてリーマを行う事を原則としている。今回の場合のスペックでは全橋の仮組立ではなく、トラス端部の一つの三角形のみ工場組立をし、そこでリーマをする事になっている。

なお、製作については韓国企業を協力会社としてこれの管理・指導をおこなうこととなっている。鉄道橋、しかもトラス構造でもあり品質的に高度なものが要求されるわけで、当社としても強力な指導体制のもとでコンサルタントしてゆかねばならない。出荷は2連を1ブロックとして2回を予定している。第1回の出荷は昭和60年2月末日を目標としている。

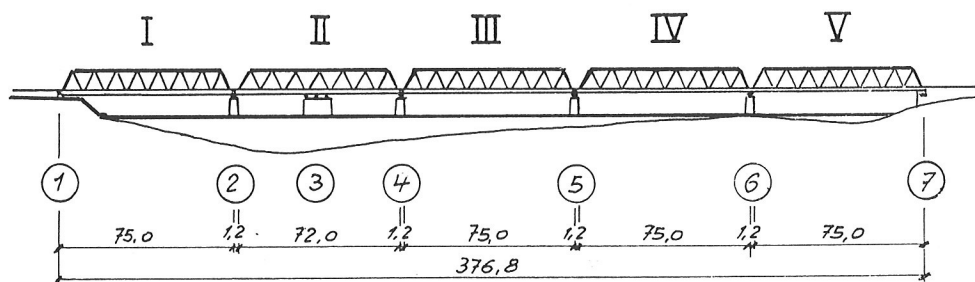


図-1 一般図

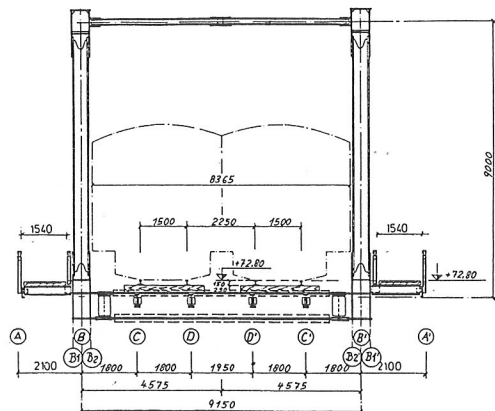


図-2 断面図